

4 X線テレビ装置保守業務仕様書

この仕様書は、X線テレビ装置保守業務（以下「委託業務」という。）の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、委託者と受託者が協議して決定する。

1 保守対象期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

2 委託業務の対象機器

キヤノン

デジタルX線テレビ装置 Raffine-i(DREX-RF80/J1) 1式

(1) X線テレビ寝台 DBK-4000A 1台

(2) X線制御器 KX0-53SF 1台

(3) X線平面検出器(フラットパネルディテクタ) FDX3334RF 1台

(4) 画像処理装置 PDR-04A/03 1台

3 保守内容

(1) 定期保守（点検）

定期点検は、契約期間内2回実施するものとする。実施時期は委託者、受託者が協議して決定する。

- ・ X線テレビ寝台部各部の点検、調整
- ・ X線制御部の確認、調整
- ・ X線平面検出器（フラットパネルディテクタ）の点検、調整
- ・ 電気安全試験
- ・ X線管球のシリコンプレート交換、ファンの動作確認・清掃
- ・ 重要締結部確認

(2) 随時保守（修理）

障害が発生した場合、委託者からのオンコールにより、障害修理を行う
ただし、PDR、FDXについては無償扱いとする。

4 保守の範囲

次の各項にあげるものは、委託業務に含まないものとする。

- (1) 装置の移設、撤去、オーバーホールに関する作業
- (2) 装置の仕様変更
- (3) 受託者指定のサービスエンジニア以外の作業による障害修理
- (4) 取扱説明書に従わない取扱方法の誤りによる装置の障害修理
- (5) 電源、設置環境等の仕様書による使用条件を逸脱した外部環境により生じた装置の障害修理
- (6) 天災地変等、受託者の責に帰することのできない事由により生じた装置の障害修理。

5 負担区分

- (1) 保守業務に使用する電力、給水、給湯、ガス等は、委託者の負担とする。
- (2) 定期交換部品費は受託者負担とする。
- (3) 点検時及び修理時に発生した修理部品費は、一品金 1,000,000 円までは保守業務に含まれ受託者の負担とし、超過の場合、差額は委託者負担とする。
- (4) 他社周辺機器及びメディア等消耗品は、委託者負担とする。
- (5) X線管球故障時交換は、委託者負担とする。
- (6) 契約対象装置における立会い業務は保守業務に含まれ受託者負担とする。